

平成21年度事前評価 研究評価結果報告書

平成21年度事前評価
山形県試験研究機関試験研究課題
山形県試験研究機関業務課題

平成21年9月
山形県研究評価委員会

今回報告のあらまし

本報告書は、平成21年度以降新たに研究等に取り組む課題でこれまで報告されていないものについて、事前評価結果を取りまとめたものである。評価方法は書面評価により行い、平成21年6月実施の研究評価以降に計画され、競争的資金などに応募等行われたものを対象とする。事前評価を実施した課題については、評価結果およびコメントを付して県のホームページで公表する。

1 平成21年度県試験研究機関試験研究課題、業務課題の事前評価

1-1 評価対象及び評価方法

(1)試験研究課題、(2)業務課題については、前回(平成21年6月実施)の研究評価以降の計画に基づいて、事前評価を受けていない課題を対象とする。課題内訳は、県試験研究機関試験研究(公募型+一般)5課題、業務課題が2課題で書面評価した。これらの機関別内訳を次表に示す。

機関名	試験研究課題		業務課題
	公募型研究課題	一般研究課題	
健康福祉部 衛生研究所			1
商工労働観光部 工業技術センター	3	1	1
農林水産部 農業総合研究センター水田農業試験場		1	

1-2 評価の視点

平成21年度県試験研究機関が実施する予定の(1)試験研究課題、(2)業務課題について、各々、評価の視点を次表に示す。

(1) 県試験研究機関試験研究課題

評価項目	評価の視点
目標の明確性	<ul style="list-style-type: none"> ○目的が明確になっているか ○本県の事情、時代の要請に合っているか ○行政施策との整合性は取られているか ○ニーズの把握は適切か ○県が実施すべき研究であるか
研究進度に応じた熟度	<ul style="list-style-type: none"> ○研究の進捗に応じて以下の点が適正に行なわれているか <ul style="list-style-type: none"> ・関連する知見や技術的課題の明確化 ・新規性、独創性等の確認 ・競合する研究や特許等に対する優位性の検証
成果波及の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ○成果の活用方向の検討、検証がなされているか ○実現可能性の検討、検証がなされているか ○研究成果の実用化や普及展開、波及効果が十分に期待できるか ○プロジェクト化への展開可能性があるか ○知的財産権の取得見通しはあるか ○費用対効果の検証が適正に行なわれているか

研究手法の妥当性	<input type="checkbox"/> 適正な目標が設定されているか <input type="checkbox"/> 目標達成に向けた進行管理がなされているか <input type="checkbox"/> 目的に至るための様々な手法について検討したうえで適切な研究手法が選択されているか <input type="checkbox"/> 課題に見合った研究体制が組まれているか <input type="checkbox"/> 外部との連携および共同研究体制は適切か
----------	---

(2) 県試験研究機関業務課題

評価項目	評価の視点
業務の合目的性	<input type="checkbox"/> 試験研究機関全体としてのミッション(期待される具体的な使命)のなかで、当該業務の位置づけが明らかにされているか
業務の発展性	<input type="checkbox"/> 当該業務が個々の試験研究とどのように関連し、どのような役割を担っているのかについて検討されているか
業務の戦略性	<input type="checkbox"/> 相談や普及、指導等の業務が、地域ニーズと研究シーズをどうコーディネートし、研究成果をどう技術移転・社会還元しようとしているのかについて明らかにされているか
業務の機関適格性	<input type="checkbox"/> 当該業務の内容が、試験研究機関の担っている役割分担や能力に見合っているか、他機関との連携・協働等について検討されているか

1-3 評価結果

各々、概要を次表に示す。個別課題毎の評価結果と評価委員会による助言・指導意見については巻末表(表1～2)のとおりである。

(1) 県試験研究機関試験研究課題

評価結果		課題数
<ul style="list-style-type: none"> 今後の研究展開が期待でき、要求どおり措置し、実施すべき課題 公募型研究課題にあっては、今後の研究展開が期待でき、申請を妥当とする課題 	◎	0
<ul style="list-style-type: none"> 概ね的確ではあるが、さらに研究計画を精査し、または研究を特化したうえで実施すべき課題 公募型研究課題にあっては、申請を可とする課題 	○	5
次の事項に係る研究会の実施等から取組みが求められる課題 <ul style="list-style-type: none"> 研究の手法、競合研究や周辺特許などの状況について調査・学習 市場性、マーケティング戦略、研究や産業化の実現可能性等の調査検証 公募型研究課題にあっては、内容の見直しをして進めるべき課題 	△	0
提案内容について今後さらなる検討を要する課題	×	0

(2) 県試験研究機関業務課題

評価結果		課題数
業務の進捗が適切と考えられ、実施していく段階にあるもの	可	2
業務の進捗が適切でない課題、事業の再構築など再検討を要する課題	不可	0

表1 平成21年度県試験研究機関試験研究課題(公募型課題、一般研究課題) 事前評価

整理番号	区分	研究課題名	試験研究機関	外部評価結果	評価委員会指導・助言
1	公募	無線式スマートセンサによる中小工場向け可搬型省エネ診断システムの実証	工業技術センター	○	中小製造業における炭素排出削減実証モデルの提案を行うもので、注目できます。低炭素の視点を現状の電力計測だけでなく、温湿度や振動などに広げるとともに、ユーザインタフェースが現場のニーズに沿ったものになるよう留意して進める必要があります。
2	公募	フェライト系ステンレス鋼の高機能化に係る技術の開発	工業技術センター	○	山形県内の地場産業にとって有用な技術開発です。研究開発目標も具体的でわかりやすくなっています。組織の微細化という基礎研究的要素が強いと考えられますが、精度のよい実験と因果関係の把握に努めていただきたい。
3	一般	県産スギ材を活用した外構部材の開発	工業技術センター	○	スギの新たな使用用途を開発する研究として、先行例が少ないことから興味深い研究です。耐用年数の比較検討や、消費者ニーズに沿ったものかなど経済効果も考慮に入れて検討していただきたい。
4	公募	血液分析チップの開発	工業技術センター	○	微量血液による簡易診断技術として興味深い研究課題です。保有するMEMS技術など独自技術を活かし、ノウハウの蓄積をしていただきたい。
5	一般	高温下で変動する代謝物質の探索	農業総合研究センター水田農業試験場	○	米の高温環境下における白未熟粒の発生による品質低下が懸念されており、高温耐性品種開発のための基礎データを得ることを目的とする点を評価します。他機関の研究成果も参照しながら、長期的な視点で戦略的に研究を進めていただきたい。

表2 平成21年度県試験研究機関業務課題 事前評価

整理番号	区分	研究課題名	試験研究機関	外部評価結果	評価委員会指導・助言
1	業務	小児感染症研究	衛生研究所	可	手足口病の主要病原体の1つであるコクサッキーウィルス分子疫学研究が対象であり、先行する研究を参考にし、流行のメカニズムを解明するなど小児感染症対策への貢献を期待します。
2	業務	東北地域イノベーションネットワーク創出共同体形成事業	工業技術センター	可	東北各地域の公設試や大学が保有している技術シーズを持ち寄り、各々特色を活かした広域連携ネットワークを構築するものとして評価します。有機的な連携になり、具体的な成果がでることを期待します。